

岐阜県議会だより

[No.23] 令和2年2月発行
令和元年12月定例会号



発行：岐阜県議会
編集：岐阜県議会広報委員会

ホームページ

議会の紹介、本会議の映像・概要等を掲載

岐阜県議会

検索



本紙の点字版・音声版も作成しています。
県内の公立図書館等で閲覧することができます。

今回の主な内容

- P2：本会議における一般質問の内容
- P4：常任委員会における審査等の内容と委員会視察
- P6：特別委員会における調査の内容
- P7：提出された議案等の議決状況

令和元年第5回岐阜県議会定例会の概要

開会日(12月3日)、知事から提出された議案は、台風19号により被災した農業生産施設の復旧支援や、9月以降にCSF(豚コレラ)の感染が確認された農場の防疫措置などを内容とする、18億円余の増額を求める一般会計補正予算案など予算関係6件のほか、条例関係10件、その他の案件12件でした。

12月11日、12日及び13日に、一般質問を行い、知事や関係部局長等の答弁を求めました。

閉会日(12月19日)には、開会日に知事から提出された議案がすべて原案どおり可決されたほか、前回の定例会から継続審査とされていた平成30年度岐阜県一般会計歳入歳出決算などの決算14件が認定、平成30年度水道事業の未処分利益余剰金の処分についてなどその他の案件2件が可決されたほか、最終日に知事から追加提出された人事案件1件が同意されました。

また、最終日に議員から提出された「国土強靱化対策

の推進を求める意見書について」など、意見書4件が可決されました。

請願については、「日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書採択についての請願」など2件が不採択となりました。

主な会期日程(17日間)

12月 3日	開会
4日	提出議案に関する説明会
6日	今定例会の請願・陳情書提出期限
11日	一般質問・質疑
12日	一般質問・質疑
13日	一般質問・質疑、委員会付託
16日	常任委員会
18日	特別委員会
19日	閉会

令和2年度当初予算編成について

質問 令和2年度当初予算における重点事項と編成方針についてお聞かせください。

答弁 令和2年度当初予算編成については、「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」で示す3つの「政策の方向性」を編成方針として進めていきます。

第一の「『清流の国ぎふ』を支える人づくり」では、あらゆる分野における担い手の育成・確保、県内産業の生産性向上に取り組むとともに、多様な主体の社会参加が可能となる仕組みづくりなどに取り組んでいきます。

第二の「健やかで安らかな地域づくり」では、大規模停電対策等の防災・減災対策、養豚農場の飼養衛生管理の向上等のCSF（豚コレラ）対策のほか、持続的な地域医療の確立、児童虐待の防止に向けた取り組みなどを進めていきます。

第三の「地域にあふれる魅力と活力づくり」では、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始や「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の開館等を踏まえ、国内外からの観光誘客に取り組むとともに、東京オリンピック・パラリンピックを通じた本県の魅力発信などに取り組んでいきます。

質問 令和2年度当初予算編成にあたり、有利な財源の獲得に向けて、どのように取り組んでいくのですか。

答弁 当初予算編成にあたっては、中長期的な見通しに立った財政運営に加えて、有利な財源を国から積極的に獲得していくことが重要と考えています。

例えば、昨年の7月豪雨に係る災害復旧費138億円については、約7割の99億円を国庫支出金で賄うとともに、残りの大部分となる36億円について、償還額の95%が交付税算入される有利な災害復旧事業債を活用しました。

また、CSF（豚コレラ）対策についても、昨年度、9億円の国庫支出金を確保するとともに、県費負担分26億円の半分を超える14億円について、特別交付税を確保したところです。

引き続き、国の予算編成や施策の方向、新規事業の動向などについて情報を収集し、国の補助金や交付金、起債を活用するなど、有利な財源の獲得に取り組んでいきます。

防災ヘリの整備士に対するパワハラ問題への対応について

質問 防災ヘリの整備士に対するパワハラ問題について、県はどのように対応したのですか。

答弁 平成28年2月に防災航空センターの当時の管理職員がパワハラを疑うに足る情報を得るとともに、同年4月に当時のセンター長が被害者からの相談により情報を得たにもかかわらず、その情報が現場で止まり、本庁への報告が行われていませんでした。

このセンター長の対応は、パワハラを疑うに足りる情報を得た場合には、速やかに本庁に報告するとの「パワー・ハラスメントの防止等に関する指針運用要領」に反しており、改めて、管理職に対して同要領に基づく報告を徹底していきます。

質問 ハラスメント事案の再発防止に向けて、今後どのように取り組んでいくのですか。

答弁 今後、有識者からなる検討組織を速やかに立ち上げ、整備士の業務に対するチェック機能が働く体制を整えるとともに、外部による定期的なチェックを導入するなどの改善策を取りまとめます。

また、再発防止策の議論を進める中で、職員間の意思疎通や情報共有のあり方、チームとしての業務遂行能力を向上させる方策についても有識者からご提言をいただき、人事管理上の安全管理対策を強化していきます。

本会議の様子は、岐阜県議会のホームページでもご覧いただけます。

岐阜県議会 議会中継 検索



カラーユニバーサルデザインについて

質問 カラーユニバーサルデザインの取扱指針を示すガイドブックの策定について、どのように取り組んでいくのですか。

答弁 色の使い方などに予め配慮するカラーユニバーサルデザインは、色の識別が難しいだけでなく、誰に対しても正しい情報が伝わる仕組みであり、来年度、その取扱指針であるガイドブックを作成します。

カラーユニバーサルデザインの考え方については、現在整備中の新県庁舎をはじめとする県有施設のサインや、ハザードマップなどの県民に危険を示す情報などに取り入れていきます。

また、ガイドブック作成後は、各所属や市町村、小中学校、民間事業者等へ配布して周知するとともに、研修等を開催し、活用促進を図ります。

木曽川流域の広域観光連携について

質問 木曽川流域の広域観光連携に対する考えをお聞かせください。

答弁 木曽川及びその流域は、「清流の国づくり」に欠かすことのできない地域であり、支流を含めた上流域から下流域は、魅力的な観光資源の宝庫となっています。

これらの観光資源を共通のテーマでまとめ、ブランド化して周遊観光を促していく取組みが重要であり、明確なコンセプトのもと、広域観光連携の推進体制を構築し、中期的なビジョンと具体的なアクションを打ち出していく取組みが必要です。

2027年に予定されるリニア中央新幹線の開業を本県の発展に生かす鍵の一つが、「清流木曽川プロジェクト」であると考えています。

病院の再編・統合について

質問 国が再編・統合の検討を必要とする全国の公立・公的病院のリストを公表したことを踏まえ、県はどのように対応するのですか。

答弁 国による病院リストの公表については、第一に、各地で自主的な議論が進められている中で、特定の病院を名指しすることは、一方的かつ唐突であること、第二に、地域の実情を考慮せず、全国一律の基準で機械的に病院を選定すること自体に問題があること、第三に、リストの再検証を求めながら、その根拠となる情報を示していないことから、地域の不信と混乱を招くものであり、適切でなかったと考えております。

地域医療のあり方は、住民に密着した課題であり、県としては、地域における医療需要の現状と将来見通しを見極めながら、民間病院を含めた具体的対策を検討するとともに、国に対して、持続可能な地域医療提供体制を構築するため、国費による財政支援を含めた対応を求めていきます。

質問 地域医療構想の実現に向けて、今後どのように取り組んでいくのですか。

答弁 県では、病床機能ごとの医療需要を見据え、望ましい機能別病床数、中心となるべき医療機関、医療機関相互の連携や機能分担などの方向性を定めた地域医療構想の実現を図るため、圏域ごとに地域医療構想等調整会議を設置し、具体的な協議を進めてきたところです。

引き続き、各圏域における医療提供体制の見直しについて、幅広い関係者の参画を得ながら、具体策の協議を進めるとともに、公立・公的病院、民間病院の別なく支援を行う新たな財政支援制度の設置について、強く国に働きかけていきます。

※「地域の実情を踏まえた医療確保策の推進を求める意見書」について

地方の理解を得られる具体策を提示するとともに、地方における議論を支援することを求める意見書を可決し、国へ提出しました。

◆一般質問では、21名の議員が延べ131項目について質問しました。

上記のほか、県強化計画に向けた取り組み、「エンジン01in岐阜」の開催について など

令和元年第5回定例会において質問を行った各議員の発言要旨(質問項目)については、岐阜県議会のホームページにてご覧いただけます。

岐阜県議会 令和元年第5回定例会 発言通告

検索



常任委員会における審査等の内容と委員会視察

総務委員会

〈主な審査事項〉

◆ 令和元年度一般会計補正予算

【歳入補正：18億4,364万円の増額】

- 台風19号により被災した農業生産施設の復旧等に対する支援に係る国庫支出金など

【歳出補正：2億3,992万2千円の増額（当委員会関係分）】

- CSF（豚コレラ）防疫業務対応による超過勤務等手当など

◆ 条例その他議案

- 知事及び副知事など特別職の期末手当の支給割合を引き上げる条例の改正など

◆ 総務委員会視察（令和元年11月12日～14日：山形県）

- ・米沢市役所、上杉神社（米沢市）・山形県庁（山形市）
- ・日本海総合病院（酒田市）・キッズドームソライ（鶴岡市）
- ・鶴岡市先端研究産業支援センター（鶴岡市）

日本海総合病院において、ICTを活用した地域医療ネットワークやAI問診等について説明を受けました。



企画経済委員会

〈主な審査事項〉

◆ 令和元年度一般会計補正予算

【歳出補正：2億551万3千円の増額（当委員会関係分）】

- 人事委員会勧告を踏まえた給与改定等による、職員の給料や手当等の増額

◆ 条例その他議案

- 関ヶ原町に岐阜関ヶ原古戦場記念館を設置する条例の制定など

◆ 企画経済委員会視察（令和元年10月29日～31日：北海道）

- ・株式会社ニセコリゾート観光協会（ニセコ町）
- ・道の駅ニセコビュープラザ（ニセコ町）
- ・北海道後志総合振興局（倶知安町）
- ・小樽観光大学校（小樽市）
- ・どうぎんカーリングスタジアム（札幌市）

小樽観光大学校において、小樽案内人より、ガイドの養成目的や概要、ガイドをする際の課題、留意事項などについて説明を受けました。



厚生環境委員会

〈主な審査事項〉

◆ 令和元年度一般会計補正予算

【歳出補正：1億7,242万円の増額（当委員会関係分）】

- 県美術館の展示室のカビが発生した床や壁の張り替えなどの復旧工事を行う経費など

◆ 条例その他議案

- 法律改正を受け美術館や図書館など5つの県立社会教育機関に係る事務権限を教育委員会から知事に移管する条例の改正など

◆ 厚生環境委員会視察（令和元年10月28日～30日：香川県）

- ・バイオマス資源化センターみとよ（三豊市）
- ・瀬戸内国際芸術祭2019（女木島・大島）
- ・メロディ・インターナショナル株式会社（高松市）

香川県大島において、長らくハンセン病に対する社会的偏見と差別から、強制隔離されてきた入所者の境遇や日常生活などについて説明を受けました。



〈主な審査事項〉

◆ 令和元年度一般会計補正予算

【歳出補正：8億6,059万3千円の増額（当委員会関係分）】

- 9月以降に発生したCSF（豚コレラ）の防疫措置等に必要な経費
- 台風19号により被災した農業生産施設等の復旧等に対する支援に要する経費など

◆ 農林委員会視察（令和元年11月6日～8日：熊本県・宮崎県）

- ・阿蘇地域世界農業遺産推進協会、大観峰展望所（熊本県阿蘇市）
- ・日向市役所（宮崎県日向市）
- ・住友林業(株)日向山林事業所東郷樹木育苗センター（宮崎県日向市）
- ・口蹄疫メモリアルセンター（宮崎県高鍋町）
- ・宮崎県食品開発センター（宮崎県宮崎市）

宮崎県食品開発センターにおいて、6次産業化に向けた試作品開発に対する支援などについて説明を受けました。



〈主な審査事項〉

◆ 令和元年度一般会計補正予算

【歳出補正：6,237万7千円の減額（当委員会関係分）】

- 職員の異動や人事委員会勧告を受けた給与費改定に伴う職員給与費等の減額など

◆ 条例その他議案

- 道路構造令の改正に伴い県道の構造基準について道路状況に応じ自転車通行帯を設置する規定を追加する条例の改正など

◆ 土木委員会視察

（令和元年11月11日～13日：岩手県・秋田県・青森県）

- ・片岸海岸防潮堤、鶴住居川水門、大槌川水門、小槌川水門（岩手県釜石市）
- ・大槌町文化交流センター おしゃっち（岩手県大槌町）
- ・宮古盛岡横断道路 新区界トンネル（岩手県宮古市）
- ・道の駅おおゆ（秋田県鹿角市）、青森県庁（青森県青森市）

片岸海岸防潮堤において、防潮堤や水門の工事概要や津波の状況などについて説明を受けました。



〈主な審査事項〉

◆ 令和元年度一般会計補正予算

【歳出補正：4億2,756万9千円の増額（当委員会関係分）】

- 職員給与費の整理など

◆ 条例その他議案

- 盗撮やのぞき見等の卑わいな行為の規制対象場所を拡大する等の公衆に著しく迷惑をかける行為等の防止に関する条例の改正など

◆ 教育警察委員会視察（令和元年11月20日）

- ・岐阜県警察航空隊（各務原市）

岐阜県警察航空隊において、救難救助等に使用する機材等について説明を受けました。



常任委員会の質疑内容は、岐阜県議会のホームページでもご覧いただけます。

岐阜県議会 会議録検索 検索



特別委員会における調査の内容

社会基盤整備・防災対策 特別委員会

- ◆「リニア岐阜県駅周辺における中津川市の取組み」について参考人から説明を受け、質疑を行いました。

参考人：中津川市リニア都市政策部長 木村 研一 氏
中津川市リニア都市政策部局長 保庭 正人 氏

質問 観光施策や移住定住施策に関して、中津川市として新駅が整備される近隣の地域とどういった連携をとっているのでしょうか。

答弁 リニア駅設置予定の相模原市、甲府市、飯田市、名古屋市の担当職員で情報交換会を年に数回開催し、共通の課題に対する情報交換等を実施しています。



少子高齢化社会の安心対策 特別委員会

- ◆「子どもを産み育てやすい地域づくり」について参考人から説明を受け、質疑を行いました。

- 少子化対策の現状について

参考人：一般社団法人日本少子化対策ネットワーク 代表理事 安藤 摩里 氏

質問 少子化対策として、晩婚化に対してはどのような取組みが必要だと思いますか。

答弁 結婚に夢を持っていない人が多いので、幸せな家庭のイメージを持てる機会があるとよいと思います。毎月1回集まりスポーツを楽しむ団体を作ったところ、参加者の中から結婚する人が出てきました。継続して開催し、結婚した人たちが子どもを連れて参加することで、独身者が結婚に夢を持てるようないい流れができると良いと考えます。



産業競争力強化対策 特別委員会

- ◆「生産性向上と高付加価値化及び多様な人材の活躍」について、参考人からそれぞれ取組状況等の説明を受け、質疑を行いました。

- 建設業におけるICTを活用した生産性向上と人材育成の取組みについて

参考人：青協建設株式会社 土木部 グループマネージャー 後藤 昌寛 氏

- 新業種への挑戦 付加価値を高める商品開発について

参考人：株式会社キュリオ 代表取締役 高橋 陽介 氏

質問 建設業界における外国人材の活躍は進んでいますか。

答弁 建設業界は深刻な人手不足、担い手不足であり、技術者をはじめ多くの人材が必要となっています。そのため、少しずつですが、外国人材は増えており、今後もその傾向は続いていくものと思われま。



魅力度向上対策 特別委員会

- ◆「観光産業の基幹産業化に関する取組み」及び「県産農畜水産物の海外展開・販路拡大に関する取組み」について執行部から説明を受け、質疑を行いました。

質問 県が主体となって開発に取り組んでいるインバウンド向け体験プログラムについては、今後どのように販売していくのですか。

答弁 欧米豪の旅行者が訪日旅行商品を申し込む大手ウェブサイトなどと提携し、体験プログラムの特集ページを掲載して紹介するなど、オンラインで販売することを考えています。

また、現在リニューアル中の県の海外向けウェブサイトでも申し込めるようにするほか、東京オリンピック・パラリンピック期間中に日本行きの航空チケットを購入した外国人向けに、ターゲット広告を展開することなども考えています。

今回の定例会において提出された議案等の議決状況

議員 提出案件

◆**意見書** ※可決した意見書は国などへ提出し、その実現を求めました。

可決 4件

- 国土強靱化対策の推進を求める意見書について
 - ・2021年度以降についても必要な事業予算を安定的・持続的に確保すること。
 - また、災害復旧・災害関連予算を十分確保するとともに補助対象の拡大を図ることなどを強く求める。
- 軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書について
 - ・広範な産業への影響を考慮し、軽油引取税の課税免除措置を令和3年度以降も継続するよう強く求める。
- 地域の実情を踏まえた医療確保策の推進を求める意見書について
 - ・地域医療構想の推進にあたって国は、地方の理解を得られる具体策を提示し、地方における議論を支援することを強く求める。
- 高齢運転者の安全運転対策等の推進を求める意見書について
 - ・自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討することなどを強く求める。

知事 提出案件

◆**予算**

可決 6件

- 令和元年度岐阜県一般会計補正予算 (ほか5件)

◆**条例**

可決 10件

- 岐阜関ヶ原古戦場記念館条例について (ほか9件)

◆**人事**

同意 1件

- 土地利用審査会委員の任命同意について

◆**専決処分**

承認 1件

- 令和元年度岐阜県一般会計補正予算の専決処分の承認について

◆**決算の承認 (9月定例会から継続審査中の案件)**

認定 14件

- 平成30年度岐阜県一般会計歳入歳出決算 (ほか13件)

◆**その他**

可決 11件

- 徳山ダム上流域の山林の取得について (ほか10件)

◆**その他 (9月定例会から継続審査中の案件)**

可決 2件

- 平成30年度岐阜県水道事業の未処分利益剰余金の処分について (ほか1件)

請願

不採択 2件

- 日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書採択についての請願
- 35人学級の前進、保護者負担の軽減、教育条件の改善を! 2019年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

議案等の内容及び議決状況は、岐阜県議会のホームページでもご覧いただけます。

岐阜県議会 議案等の議決内容



その他の活動について

岐阜県議会活性化改革検討委員会中間答申について

県議会の活性化に向け、令和元年6月に議長から諮問を受けて調査・検討している項目のうち、政策提言・立案機能の強化に関して、結論に達した次の項目について、12月19日、議長（代理：副議長）に対して中間答申を行いました。

今後は、答申内容の実現に向け、検討を進めていきます。

- タブレット端末の活用について



副議長へ中間答申を行う藤埴委員長(中央)、平岩副委員長(左)(議長室)

決算特別委員会の審査について

前回の定例会（9月議会）において継続審査としていた決算の認定について、本委員会のほか、二つの小委員会を設け、10月15日から各部局の予算の執行結果や事業の成果・実績などについて審査を行いました。審査の結果、いずれも認定すべきものと決定し、閉会日（12月19日）にその旨を報告し、本会議においても認定されました。

[平成30年度岐阜県一般会計及び特別会計の決算]

単位：百万円（ ）内は前年度比

	一般会計	特別会計(全11会計)	【参考】特別会計(10会計)
収入済額	812,537(+1.1%)	305,087(+160.9%)	120,229(+2.8%)
支出済額	799,161(+0.8%)	301,397(+164.4%)	117,878(+3.4%)
歳入歳出差引額	13,375	3,690	2,351
実質収支	6,644	3,464	2,125

※ [実質収支] とは、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額をいいます。

※ 平成30年度に国民健康保険特別会計が創設されたことにより前年度比が大幅増となりました。参考として国民健康保険特別会計を除く10会計による決算額と前年度比を記載しています。

[平成30年度岐阜県水道事業会計及び工業用水道事業会計の決算]

単位：百万円

	水道事業会計	工業用水道事業会計
事業収益	5,512	85
事業費用	4,275	66
純利益	1,237	20

※ 水道事業会計及び工業用水道事業会計の決算額は税抜き額です。

次回定例会の予定

次回定例会は、2月下旬に開会の予定です。日程が決まり次第、ホームページでお知らせします。

お問い合わせ窓口
(ご意見・ご感想もこちらへ)

岐阜県議会事務局 総務課
〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1
TEL 058-272-8717
FAX 058-278-2802
E-mail c12159@pref.gifu.lg.jp



会派別議員数

(R1.12.19現在)

県政自民クラブ	31人
県民クラブ	6人
岐阜県議会公明党	2人
日本共産党	1人
無所属	5人
合計(定数)	45人(46人)